

名古屋大学理学部における学習について

これから大学で勉学を進めるに当たっては、まず履修計画を立てることが必要です。配布した**全学教育科目履修の手引**、**全学教育科目授業時間割（A表およびB表）**、**シラバス**および**本便覧**を参照して履修計画をたてて下さい。

1. クラス編成と学期

理学部の学生は、1，2年次の間、理－1～理－12クラスのいずれかに属することになります。各クラスの1年次における指導教員（クラス担当）を前ページに示します。クラス担当は、必ずしも諸君が志望する学科の教員ではないかもしれませんが、学習、研究、学資のような個人的なことがらなどについて、何でも遠慮なく相談してください。2年次では、入学時に決められたクラスは存続しますが、各クラスにクラス担当はおきません。諸君が分属した学科（第3項参照）の教室主任がクラス担当として相談にのることになります。各自がどのクラスに所属するかはガイダンスの際に分かります。

学部課程を修了するまでに普通は4年間を要するので、この間に8つの学期が含まれることになります。これを1年次の春学期から通し番号をつけて次のように呼んでいます。

また本学では、セメスター（2学期）に加え、クォーター（4学期）で授業が実施できるよう学期を設定しています。学年（年度）を春学期・秋学期の2つに分けた上で、さらに各期の授業期間を2つに分け、前半を春1期・秋1期、後半を春2期・秋2期とします。

1年次		2年次		3年次		4年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII

(注)期の順番を表す数字は常にローマ数字を使用しています。

2. 進級要件について

理学部では1年次における修得単位数が20単位に満たない学生については、2年次への進級を認めません。この「20単位」には、1年次に開講される全学教育科目及び理学部専門系科目のすべての科目が対象になります。

修得単位数が20単位未満の学生は、進級することはできないので、学科分属（第3項参照）を行うことができません。もう一度1年次生として、1年次のカリキュラムを履修してください。

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱等
1年次終了時	1年次終了時において、20単位以上修得していること。 ただし、随意科目及び教職科目は20単位に含まれない。	① 1年次に留める。 ② 1年次の在学年数は、通算5年までとする。 （在学年限（8年）－2～4年次の年数（3年）） ③ ②の通算5年に達しても進級できない者については除籍する。

3. 学科分属について

理学部では、1年次の間はどの学科にも属さず広くいろいろな教科を学習することになっています。2年次からは特定の学科（数理学科、物理学科、化学科、生命理学科、地球惑星科学科）に属し、主にそこの専門教育を受けることになります。これを「学科分属」といいます。11項の(7)、(8)で述べるように数理学科、物理学科、化学科及び地球惑星科学科については、1年次の内に特定の専門基礎科目と自然系基礎科目を履修することが要求されていますので特に注意してください。また、地球惑星科学

Ⅱ. 名古屋大学理学部における学習について

科へ進学する学生は、4年次で地球惑星科学特別研究（卒業研究）を履修するまでに、原則として専門系科目の必修科目と選択科目及び全学教育科目の必要単位数のすべてを履修しておくことが要求されます。

学科分属に際して各学科が受け入れることができる学生数は、学生定員に応じて教員の数や教室、実験室の広さが決まっていることから限度があります。このため志望者が定員を超過したときあるいは定員を下回ったときには何らかの調整を行うこととなります（1年次における専門基礎科目、自然系基礎科目などの履修状況や成績が参考とされたり、特定の科目の試験や面接が行われたりすることがあります。）。

なお、学科分属の際に第一志望の学科に分属されなかった学生に対して、「再分属制度」があります。

再分属の選考の際には、既修得単位のほかに、再履修をした自然系基礎科目の成績も加味することも可能です。そのため、あらかじめ指定した理学部向け自然系基礎科目のうち、一般学生の履修登録後、受講生数にゆとりがある科目について再履修を許可しますので、理学部教務学生係から「再履修願」をもらってください。

詳細については、1年次の分属ガイダンスにてお知らせします。

4. 授業科目と卒業要件単位数について

名古屋大学理学部在学中に受講する科目は、全学教育科目及び学部科目です。全学教育科目には、共通基礎科目、自然系基礎科目、国際理解科目、現代教養科目及び超学部セミナーがあります。全学教育科目は、専門を越えた広い視野を養うための科目で全学の教員が分担して担当しています。その科目表は、**全学教育科目履修の手引**の中にくわしく記されています。学部科目は専門基礎科目及び専門科目で、これは理学部の教員が担当します。2年次までに開講される専門科目と専門基礎科目は卒業するうえで重要な科目ですので特に注意してください。

卒業するためには全学教育科目および学部科目の所定の単位を履修することが必要です。卒業要件単位数は分属する学科によって異なります。

全ての科目は必修科目、選択必修科目及び選択科目に分類できます。必修科目は必ず修得すべき科目、選択必修科目は指定された科目の中から所定の単位数を修得すべき科目です。さらに諸君の要求に応えるよう幅広く用意されているのが選択科目です。各自が専攻しようとする学科の卒業要件単位数を考慮し、履修計画を立ててください。

全学教育科目のうち自然系基礎科目は、学部科目の基礎となる科目で、学科によっては一部必修、又は選択必修となっていますから注意してください。

5. 履修取り下げ制度について

本学では授業科目の成績評価に際して、「W（欠席）」と「F（不合格）」の扱いをより厳格に取り扱うため、履修登録を行ったが、何らかの事情により学期途中で履修する意思がなくなった科目について、学生から意思表示ができるよう、所定の期限までに授業担当教員へ履修を取り下げの旨の届けをする履修取り下げ制度を導入しています。

授業担当教員に履修取り下げの意思を示した場合、成績評価の際、「F（不合格）」ではなく「W（欠席）」となります。

なお、個々の授業科目の「W」と「F」の扱いについて、及び履修取り下げの際に「履修取り下げ届」の提出を必要とするかどうかについては、各授業科目のシラバスを確認してください。

「履修取り下げ届」の提出を必要とする場合、用紙は理学部教務学生係で受け取り、必要事項を記入の上、春学期は5月末までに、秋学期は11月末までに授業担当教員に届けてください。ただし、個々の授業の事情により提出期限が異なる場合がありますので、授業担当教員に確認してください。

6. 履修登録単位数の上限設定（キャップ制）について

名古屋大学では、2022 年度以降学部入学者について、履修登録単位数の上限設定（キャップ制）を実施しています。理学部では、履修科目として登録できる単位数の上限は、年間 65 単位です。なお、以下の除外科目については 65 単位に含まれません。

- ・教員免許状取得に関する科目（卒業要件単位数に算入する「教科に関する専門的事項」に係る科目を除く。）
- ・集中講義科目
- ・単位互換他大学科目（海外、オンラインを含む）
- ・外国語検定試験認定科目
- ・入学前の既修得単位認定科目
- ・特別履修科目
- ・所属学科の指定する科目（所属学科の卒業要件単位数表を参照してください）

また、優れた成績の学生に対しては、上限の緩和措置を実施します。理学部における緩和の条件は、「前年度の取得単位のうち、A+またはAが 80%以上」であることです。

7. 成績評価について

理学部専門系科目の成績は、「A+」、「A」、「B」、「C」、「C-」、「F」の区分で評価します。「A+」、「A」、「B」、「C」、「C-」は合格で、所定の単位が与えられます。「F」は不合格で、単位は与えられません。

8. 成績評価に関する問い合わせ

成績評価に関して、疑義が生じた場合は、授業担当教員へ問い合わせることができます。成績が発表された日から 3 日以内に、担当窓口（全学教育科目については教養教育院事務室、専門系科目については理学部教務学生係）へ「成績評価照会票」（様式は名古屋大学ポータル学務タブ内の“教育推進部からのお知らせ”からダウンロードできます。）を提出してください。

なお、成績評価が記載されていない科目についても、直接上記担当窓口までお問い合わせください。

9. 試験時における不正行為について

試験の際、不正行為を行ってははいけません。

万一、不正行為のあったときは、「名古屋大学学生の懲戒等に関する規程」により、何らかの措置（当該学生の当該学期に認定される全授業科目の単位をすべて無効とする等）を決定します。

10. 連帯保証人への修得単位通知書の送付

名古屋大学では、学生への充実した修学指導の一環として、大学が連帯保証人と連携して学生への指導助言を行うため、入学手続の際に本人及び連帯保証人に同意いただいた場合、前年度までの単位修得状況（修得単位通知書）を連帯保証人に送付します（2 年次、3 年次、4 年次の 6 月中旬～下旬に発送）。

11. 授業時間割と履修計画について

全学教育科目履修の手引、全学教育科目授業時間割（A 表及び B 表）並びに理学部各学科の専門基礎科目の時間割を参照しつつ履修計画を立ててください。

以下、各科目ごとの注意事項を記します。

Ⅱ. 名古屋大学理学部における学習について

(1) 「大学での学び」基礎論

「大学での学び」基礎論は、Ⅰ期に開講されます。1年生の場合、履修登録は自動で行われます。

(2) データ科学科目

データ科学科目は、Ⅰ期（データ科学基礎）及びⅡ期（データ科学基礎演習B）に開講されます。

1年生の場合、履修登録は自動で行われます。

(3) 健康・スポーツ科学

全学教育科目時間割（B表）の対象学部・クラス欄に理と記してあるすべての授業を選択履修できます。もしこれ以外の授業を履修したいときには、受講を認められることもありますから、希望を申し出てください。

(4) 言語文化科目

英語については、学部別および習熟度別（入学時に実施するプレイスメントテストの成績による）で受講すべき授業が決まっています。**全学教育科目授業時間割表（B表）**を参照して、指定された授業を受講してください。

英語以外の外国語としてⅠ期に開講される「多言語修得基礎」（1単位）を必ず受講してください。

(5) 基礎セミナー

基礎セミナーは、Ⅰ期に開講されます。必修ですから**全学教育科目時間割（B表）**の対象学部・クラス欄の指示にしたがって、必ず受講してください。1クラスの人数が制限されますから必ずしも希望する授業を受講できないかもしれません。希望する授業を複数選んで、希望順位を決めておいてください。

(6) 教養科目（国際理解科目、現代教養科目、超学部セミナー）

超学部セミナーは3・4年次に開講されます。

(7) 自然系基礎科目

自然系基礎科目の履修にあたっては、志望する学科の卒業要件によく注意してください。例えば、数理学科に所属した場合は微分積分学Ⅰ、Ⅱ、線形代数学Ⅰ、Ⅱ及び複素関数論が必修、物理学科に所属した場合は物理学基礎Ⅰ及び電磁気学Ⅰ、Ⅱが必修です。さらに分属する学科によっては、以下に示すように特定の授業を履修することが望まれています。これらの授業を履修しない場合は、分属の時に不利になることがありますから注意してください。

【数理学科志望の学生】

将来、数理学科を志望する学生は、次の授業を履修することが必須です。

1年春学期（Ⅰ期）	木曜4限	線形代数学Ⅰ
	水曜2限	微分積分学Ⅰ
1年秋学期（Ⅱ期）	月曜3限	線形代数学Ⅱ
	金曜1限	微分積分学Ⅱ

また、1年の数学演習、数学展望を選択することを望みます。

【物理学科志望の学生】

将来、物理学科を志望する学生は、次の授業を選択することを望みます。

1年春学期（Ⅰ期）	火曜3・4限	物理学実験
	水曜1限	物理学基礎Ⅰ（必修科目）
1年秋学期（Ⅱ期）	火曜3限	電磁気学Ⅰ（必修科目）

【化学科志望の学生】

将来、化学科を志望する学生は、次の授業を選択することを望みます。

1年春学期（Ⅰ期）	月曜3限	化学基礎Ⅰ
1年秋学期（Ⅱ期）	月曜4限	化学基礎Ⅱ

【地球惑星科学科志望の学生】

将来、地球惑星科学科を志望する学生は、次の授業を選択することを望みます。

1年春学期（Ⅰ期）	木曜4限	線形代数学Ⅰ
1年春学期（Ⅰ期）	水曜2限	微分積分学Ⅰ

II. 名古屋大学理学部における学習について

1 年春学期（Ⅰ期） 水曜 1 限 物理学基礎Ⅰ

(8) 専門基礎科目

1 年次の間にいくつかの専門基礎科目が開講されます。時間が許す限りこれらの授業を幅広く履修することを望みます。

1 年春学期（Ⅰ期） 数学演習Ⅰ・数学展望Ⅰ・現代物理学序論Ⅰ・地球惑星科学の最前線

1 年秋学期（Ⅱ期） 数学演習Ⅱ・数学展望Ⅱ・物理学基礎演習Ⅰ

このうち数理学科へ分属を希望する学生は、数学演習Ⅰ，Ⅱ及び数学展望Ⅰ，Ⅱを、物理学科へ分属を希望する学生は現代物理学序論Ⅰ及び物理学基礎演習Ⅰを受講することを強く希望します。

(9) プレセミナー

理学部独自の制度として“プレセミナー”があります。これは卒業要件単位数には取り扱われませんが、各学科の教員と大学院生を中心として学科の紹介をかねた簡単なテーマの下に約半年間行われるセミナーです。具体的な内容は4月になって示されます。学科分属など自分の将来を決める一つの大きな材料となるべきものですから積極的な参加を望みます。

12. 履修手続きについて

全学教育科目については教養教育院事務室が、理学部専門系科目については理学部教務学生係が事務を担当しています。履修手続きについては、それぞれが指定する期日を必ず遵守するようにしてください。

科目区分の内容

科 目 区 分		内 容	
専 門 系 科 目		各学科の専門の学術を学習する科目。入門的、基礎的科学と中核的な専門科目及びこれと関連する専門科目で構成される。専門系科目を専門科目、専門基礎科目に分類し、初年次から系統的な専門教育を行う。	理 学 部 専 門 系 科 目
	専 門 科 目	学科の専門系科目のうちの、最も中核的な授業科目（卒業論文又は卒業研究を含む）。学生が将来大学院で更に高度な専門教育を受けたり、当該専門分野の技術者・研究者となるために必要な知識と考え方を教育する。主として2年次以降開講される。	
	専 門 基 礎 科 目	学科において開講される専門科目、関連専門科目等を理解するのに必要な、専門に直結した基礎教育科目。	
共 通 基 礎 科 目		「自立した主体的学び」へと学習姿勢を転換し、よりよい未来社会を構築しそれを担う「勇気ある知識人」となるために、すべての学生が専門分野によらず共通に身につけるべき基礎的素養（汎用力・課題発見／解決力）を育む。	全 学 教 育 科 目
「大学での学び」 基 礎		大学とは何か、大学で学ぶとはいかなることか、大学での学びを充実したものにするにはどのような知恵が必要かについて理解し、主体的な学習者としての態度の核を形成する。	
基 礎 セ ミ ナ ー		少人数のセミナー形式による多面的な知的トレーニングを通じて、真理探究の面白さに触れるとともに、主体的な学びに必須の「調べ、考え、書き、話す」能力を涵養する。	
言 語 文 化 科 目	英 語	学問の世界の共通言語、かつ国際社会で活躍するために必須の言語である英語によるコミュニケーション能力を高め、世界に通ずる窓を開く。	
	初修外国語	英語以外の外国語の学修を通して、多様な異文化に対する理解と寛容性を身につけ、国境を越えてよりよい未来社会の構築をめざして協同するために必須の複数外国語運用能力の基礎を築く。	
	日 本 語	日本語の能力を高め、日本の文化と社会に対する理解を深めることにより、留学生活における主体的学びのための基礎能力を身につける。	
健康・ スポーツ 科学科目	講 義	健康に関する知識と自己管理能力及び運動・スポーツ習慣の必要性など、生涯スポーツの基礎となる知識を習得する。	
	実 習	スポーツの実践を通して、運動・スポーツの楽しさを味わい、運動習慣獲得の基礎となる技能、コミュニケーション能力とリーダーシップ、チームワーク形成能力を身につける。	
デ ー タ 科 学 科 目		社会の様々な場面で新しい価値を生み出す基盤となるデータ分析能力を身につけるために、その基礎的知識と汎用的な分析技能を獲得する。	

Ⅱ. 名古屋大学理学部における学習について

教 養 科 目	教養ある「勇気ある知識人」として専門知を人類社会の問題解決に活用し幸福な未来を構築していく。そのために重要な資質である「異分野・異文化に開かれた態度」「分野を超えた幅広い知識への関心」及び「自己とその専門分野を相対化する視点」を獲得する。	全 学 教 育 科 目
国 際 理 解 科 目	「異文化との出会い」を契機に、世界には多様な価値観があることを認識し、近現代の国際関係に関する知識と事項の文化に関する知識を身につける。これを通じて、自らの主張を展開する力と文化的社会的な寛容性とを兼ね備えた、国際社会で活躍しうる人間に成長するための基礎を築く。	
現 代 教 養 科 目	現代社会が抱える課題の理解を踏まえ、その課題に対する学際的・総合的分析能力を養うとともに、目指す専門分野と他分野との関連性を理解することによって、専門知の社会的役割を認識し、自らの専門分野を相対化する視点を身につける。	
超 学 部 セ ミ ナ ー	自らの目指す専門性が自覚された学部3～4年次において、異なる分野を学ぶ学生が学部・学年を超えたチームを組み、自主的に設定した課題の解決のためにみんなで考え力を合わせる主体的経験を共有する。これを通じ、リーダーシップとチームワーク、異分野への開かれた態度、多様な人々の協調による課題解決能力を身につける。	
分 野 別 基 礎 科 目	専門分野の学習の基盤となる最も基礎的な知識と技能を身につける。	
自 然 系 基 礎 科 目	自然科学系の専門分野を学んでいく基盤として、それぞれの分野における学問体系を理解し、最も基礎的な知識と技能を身につける。	

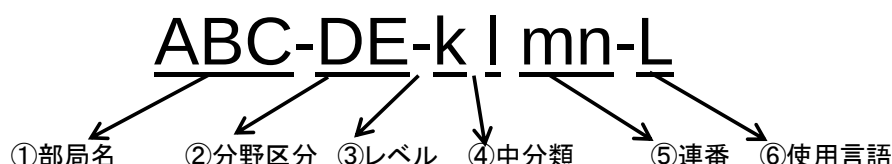
13. コースナンバリングについて

本学ではカリキュラムの体系性を明示し、海外大学との単位互換等において、どの学年、もしくはどのレベルの科目かなど、科目の位置付けを明確にすることで、カリキュラムの国際通用性を高めるために全ての科目に10桁の英数字を付しています。

理学部系専門科目のコースナンバリング構成は、以下のとおりです。

理学部系専門科目のコースナンバリング一覧は、名古屋大学理学部ホームページ (<http://www.sci.nagoya-u.ac.jp/education/index.html>) に掲載しています。

理学部授業科目のコースナンバリング



①部局名: SCI (Science)

②分野区分

MA	数理学科
PH	物理学科
CH	化学科
BI	生命理学科
EP	地球惑星科学科
OT	その他(教職科目など)

③レベル

番号	全学基準	理学部基準
0	全学教育(基礎レベル)	—
1	全学教育(発展的レベル)	—
2	学部専門科目(基礎的レベル)	学部1・2年向け専門科目
3	学部専門科目(発展的レベル)	学部3年向け専門科目
4	学部専門科目(卒業研究等)	学部4年向け専門科目
5	大学院前期課程科目(基礎的レベル)	—
6	大学院前期課程科目(発展的レベル)	—
7	大学院後期課程科目	—
8	その他(教職科目など)	その他(教職科目など)

④中分類

番号	内容
0-5	講義科目(講義、講義及び演習、講義及び実験)
6-9	講義以外の科目(演習、実験、セミナー等)

⑤連番: 科目ごとに付番される固有番号

⑥使用言語: 授業で使用する言語

記号	言語
J	日本語
E	英語
B	日英2言語併用
O	その他の言語

Ⅱ. 名古屋大学理学部における学習について

専門基礎科目授業時間割〔１年次〕

Ⅰ 期

曜	時限	1	2	3	4	5
金					数学展望Ⅰ (松尾 信一郎) 多元数理科学棟 509 0613100	数学演習Ⅰ (大内 他) 教室は追って通知する 0613400
					現代物理学序論Ⅰ (谷山・川村・野口・久野) 南館坂田・平田ホール 0628000	
				地球惑星科学の 最前線 (伊藤 武男) 南館坂田・平田ホール 0665010		

集中講義	地球環境セミナー（開講せず）0665100
------	-----------------------

Ⅱ 期

曜	時限	1	2	3	4
水			数学演習Ⅱ (浜中 他) 教室は追って通知する 0613500	数学展望Ⅱ (ガリグ) 多元数理科学棟 509 0613200	
		物理学基礎演習Ⅰ (小林晃) B5 講義室(理学部B館5階) 0628200(クラス1～6) (田村) C5 講義室(理学部C館5階) 0628201(クラス7～12)			

2 年次までに開講される専門科目と専門基礎科目

区分		授業科目	講義コード	授業形態	単位数	開講時期及び必修・選択の別	
						開講時期	必修・選択
数 理 学 科	専 門 科 目	現代数学基礎 A II	0 6 1 5 2 1 0	講 義	4	2 年 秋学期	必 修
		現代数学基礎 B II	0 6 1 5 1 1 0	講 義	4	2 年 秋学期	必 修
		現代数学基礎 C II	0 6 1 0 2 1 0	講 義	4	2 年 秋学期	必 修
		現代数学基礎 C III	0 6 1 4 8 2 0	講 義	4	2 年 秋学期	必 修
		数 学 演 習 V	0 6 1 3 5 3 0	演 習	2	2 年 秋学期	必 修
		数 学 演 習 VI	0 6 1 3 5 4 0	演 習	2	2 年 秋学期	必 修
		計 算 数 学 基 礎	0 6 1 3 3 1 0	講義及び演習	3	2 年 秋学期	選 択
	専 門 基 礎 科 目	数 学 展 望 I	0 6 1 3 1 0 0	講 義	2	1 年 春学期	選 択
		数 学 演 習 I	0 6 1 3 4 0 0	演 習	2	1 年 春学期	選 択
		数 学 展 望 II	0 6 1 3 2 0 0	講 義	2	1 年 秋学期	選 択
		数 学 演 習 II	0 6 1 3 5 0 0	演 習	2	1 年 秋学期	選 択
		現代数学基礎 A I	0 6 1 0 1 1 0	講 義	4	2 年 春学期	必 修
		現代数学基礎 B I	0 6 1 5 4 1 0	講 義	4	2 年 春学期	必 修
		現代数学基礎 C I	0 6 1 5 3 1 0	講 義	4	2 年 春学期	必 修
		数 学 演 習 III	0 6 1 3 5 1 0	演 習	2	2 年 春学期	必 修
		数 学 演 習 IV	0 6 1 3 5 2 0	演 習	2	2 年 春学期	必 修
物 理 学 科	専 門 科 目	先端物理学特論	0 6 3 1 3 0 0	講 義	1	2 年 春学期	選 択
		物 理 実 験 学	0 6 2 3 4 0 0	講 義	2	2 年 秋学期	選 択
		情 報 科 学 概 論 I	0 6 2 3 7 0 0	講 義	2	2 年 秋学期	選 択
		情 報 科 学 概 論 II	(α)0623800 (β)0623801	講 義	2	2 年 秋学期	選 択
	専 門 基 礎 科 目	現代物理学序論 I	0 6 2 8 0 0 0	講 義	2	1 年 春学期	選 択
		現代物理学序論 II	0 6 2 8 1 0 0	講 義	2		選 択
		物理学基礎演習 I	0 6 2 8 2 0 0 0 6 2 8 2 0 1	演 習	1	1 年 秋学期	選 択
		物理学基礎演習 II	0 6 2 8 3 0 0 0 6 2 8 3 0 1	演 習	1		選 択
		力 学 特 論	0 6 3 1 4 0 0	講 義	2	2 年 秋学期	選 択
		力学特論演習	0 6 3 1 5 0 0	演 習	1	2 年 秋学期	選 択
		解 析 力 学	0 6 3 1 6 0 0	講 義	2	2 年 春学期	必 修
		電 磁 気 学	0 6 2 8 6 1 0	講 義	2	2 年 秋学期	必 修
		量 子 力 学 I	0 6 2 8 8 0 0	講 義	2	2 年 秋学期	必 修
		統計物理学 I	0 6 2 8 9 0 0	講 義	2	2 年 秋学期	必 修
		数理物理学 I	0 6 2 9 0 0 0	講 義	2	2 年 春学期	必 修
		数理物理学 II	0 6 2 9 1 0 0	講 義	2	2 年 春学期	必 修
		解析力学演習	0 6 3 1 7 0 0	演 習	1	2 年 春学期	必 修
		電 磁 気 学 演 習	0 6 3 1 8 0 0	演 習	1	2 年 秋学期	必 修
		電 磁 気 学 II 演 習	0 6 3 1 9 0 0	演 習	1	2 年 春学期	必 修
		量子力学 I 演習	0 6 3 2 0 0 0	演 習	1	2 年 秋学期	必 修
		統計物理学 I 演習	0 6 3 2 1 0 0	演 習	1	2 年 秋学期	必 修
		数理物理学 I 演習	0 6 3 2 2 0 0	演 習	1	2 年 春学期	必 修
		数理物理学 II 演習	0 6 3 2 3 0 0	演 習	1	2 年 春学期	必 修

Ⅱ. 名古屋大学理学部における学習について

区分		授業科目	講義コード	授業形態	単位数	開講時期及び必修・選択の別	
						開講時期	必修・選択
化学 科学 科目	専門 基礎 科目	物 理 化 学 基 礎	0 6 4 2 6 0 0	講 義	2	2 年 春学期	選択必修
		分 析 化 学 I	0 6 4 2 7 0 0	講 義	2	2 年 春学期	選択必修
		分 析 化 学 II	0 6 4 2 8 0 0	講 義	2	2 年 秋学期	選択必修
		無 機 化 学 I	0 6 4 2 9 0 0	講 義	2	2 年 春学期	選択必修
		無 機 化 学 II	0 6 4 3 0 0 0	講 義	2	2 年 秋学期	選択必修
		無 機 化 学 III	0 6 4 3 0 2 0	講 義	2	2 年 秋学期	選択必修
		有 機 化 学 I	0 6 4 3 1 0 0	講 義	4	2 年 通年	選択必修
		有 機 化 学 II	0 6 4 3 1 1 0	講 義	2	2 年 秋学期	選択必修
		物 理 化 学	0 6 4 3 3 0 0	講 義	4	2 年 通年	選択必修
		量 子 化 学 I	0 6 4 3 4 0 0	講 義	4	2 年 通年	選択必修
		生 物 化 学 I	0 6 4 3 6 0 0	講 義	2	2 年 春学期	選択必修
		生 物 化 学 II	0 6 4 3 7 0 0	講 義	2	2 年 秋学期	選択必修
		化 学 講 究 I	0 6 4 3 8 0 0	講義と演習	2	2 年 春学期	必 修
		化 学 講 究 II	0 6 4 3 9 0 0	講義と演習	2	2 年 秋学期	必 修
生命 理 学 科 目	専門 科目	生 物 科 学 実 験 I	0 6 5 0 1 0 0	実 験	2	2 年 春学期	必 修
		生 物 科 学 実 験 II	0 6 5 0 2 0 0	実 験	2	2 年 秋学期	必 修
		生 物 科 学 実 験 III	0 6 5 0 3 0 0	実 験	2	2 年 秋学期	必 修
		生物科学実験法及び実験Ⅵ	0 6 5 0 6 0 0	実験及び講義	2	2 年 秋学期	必 修
		生物科学実験法及び実験Ⅶ	0 6 5 0 7 0 0	実験及び講義	2	2 年 秋学期	必 修
	専門 基礎 科目	基 礎 遺 伝 学 I	0 6 5 3 7 1 0	講 義	2	2 年 春 1 期	選択必修
		基 礎 遺 伝 学 II	0 6 5 3 7 2 0	講 義	2	2 年 春 2 期	選択必修
		基 礎 遺 伝 学 III	0 6 5 3 7 3 0	講 義	2	2 年 秋学期	選択必修
		基礎生物物理学Ⅰ a	0 6 5 3 8 1 1	講 義	1	2 年 春 1 期	選択必修
		基礎生物物理学Ⅰ b	0 6 5 3 8 1 2	講 義	1	2 年 春 2 期	選択必修
		基礎生物物理学Ⅱ a	0 6 5 3 8 2 1	講 義	1	2 年	選択必修
		基礎生物物理学Ⅱ b	0 6 5 3 8 2 2	講 義	1	2 年	選択必修
		基 礎 生 化 学 I a	0 6 5 3 9 1 1	講 義	1	2 年 春 1 期	選択必修
		基 礎 生 化 学 I b	0 6 5 3 9 1 2	講 義	1	2 年 春 2 期	選択必修
		基 礎 生 化 学 II a	0 6 5 3 9 2 1	講 義	1	2 年 春 1 期	選択必修
		基 礎 生 化 学 II b	0 6 5 3 9 2 2	講 義	1	2 年 春 2 期	選択必修
		基 礎 生 化 学 III a	0 6 5 3 9 3 1	講 義	1	2 年 秋 1 期	選択必修
		基 礎 生 化 学 III b	0 6 5 3 9 3 2	講 義	1	2 年 秋 2 期	選択必修
		基 礎 生 理 学 I a	0 6 5 4 0 1 1	講 義	1	2 年 春 1 期	選択必修
		基 礎 生 理 学 I b	0 6 5 4 0 1 2	講 義	1	2 年	選択必修
		基 礎 生 理 学 II a	0 6 5 4 0 2 1	講 義	1	2 年	選択必修
		基 礎 生 理 学 II b	0 6 5 4 0 2 2	講 義	1	2 年	選択必修
		基 礎 発 生 学 I a	0 6 5 4 1 1 1	講 義	1	2 年 秋 1 期	選択必修

Ⅱ. 名古屋大学理学部における学習について

生 命 理 学 科	専 門 目	基礎発生学Ⅰb	0 6 5 4 1 1 2	講 義	1	2 年 秋 2 期	選択必修
		基礎発生学Ⅱa	0 6 5 4 1 2 1	講 義	1	2 年	選択必修
		基礎発生学Ⅱb	0 6 5 4 1 2 2	講 義	1	2 年	選択必修
		基礎細胞学Ⅰ	0 6 5 4 2 1 0	講 義	2	2 年 春学期	選択必修
		基礎細胞学Ⅱ	0 6 5 4 2 2 0	講 義	2	2 年 秋学期	選択必修
		基礎細胞学Ⅲ	0 6 5 4 2 3 0	講 義	2	2 年	選択必修
	基 礎 科 目	基礎生物学演習Ⅰ	0 6 5 4 3 1 0 0 6 5 4 3 1 1 0 6 5 4 3 1 2 0 6 5 4 3 1 3	演 習	2	2 年 春学期	必 修
		基礎生物学演習Ⅱ	0 6 5 4 3 2 0 0 6 5 4 3 2 1 0 6 5 4 3 2 2 0 6 5 4 3 2 3	演 習	2	2 年 秋学期	必 修
		基礎分子生物学演習Ⅰ	0 6 5 4 4 1 0 0 6 5 4 4 1 1 0 6 5 4 4 1 2 0 6 5 4 4 1 3	演 習	2	2 年	選択必修
		基礎分子生物学演習Ⅱ	0 6 5 4 4 2 0 0 6 5 4 4 2 1 0 6 5 4 4 2 2 0 6 5 4 4 2 3	演 習	2	2 年	選 択
	専 門 科 目	発生学Ⅱa	0 6 5 1 4 2 1	講 義	1	2 年 春 2 期	選 択
		発生学Ⅱb	0 6 5 1 4 2 2	講 義	1	2 年	選 択
		分子生理学Ⅱa	0 6 5 1 9 3 1	講 義	1	2 年	選 択
		分子生理学Ⅱb	0 6 5 1 9 3 2	講 義	1	2 年	選 択
		生物物理学Ⅰa	0 6 5 1 2 1 1	講 義	1	2 年 秋 1 期	選 択
		生物物理学Ⅰb	0 6 5 1 2 1 2	講 義	1	2 年 秋 2 期	選 択
		生物学特論Ⅰ	0 6 5 4 5 0 0	講 義	1	2 年 秋 1 期	選 択
		生物学特論Ⅱ	0 6 5 4 6 0 0	講 義	1	2 年 秋 2 期	選 択
		生物学特論ⅩⅤ	0 6 5 5 4 5 0	講 義	1	2 年 春 1 期	選 択
		生物学特論ⅩⅥ	0 6 5 5 4 6 0	講 義	1	2 年 春 2 期	選 択

Ⅱ. 名古屋大学理学部における学習について

区分	授業科目	講義コード	授業形態	単位数	開講時期及び必修・選択の別	
					開講時期	必修・選択
地球惑星科学科	専門科目	地 質 学 実 験	0 6 6 0 1 0 0	実 験	2	2 年 通年 必修
		フィールドセミナーⅠ(地球科学野外巡検)	0 6 6 0 5 0 0	演 習	3	2 年 通年集中 必修
		地 質 調 査	0 6 6 0 6 0 1	演 習	8	2 年 秋集中 3 年 春集中 必修
		生 態 学 I	0 6 6 9 5 1 0	講 義	2	2 年 秋学期 選択
	専門基礎科目	地球惑星数学及び演習	0 6 6 0 3 1 0	講義及び演習	2	2 年 春学期 必修
		大気水圏科学基礎	0 6 6 2 6 2 0	講 義	2	2 年 秋学期 必修
		地 球 惑 星 化 学 I	0 6 6 5 4 1 0	講 義	2	2 年 春学期 必修
		地球惑星物理学概論	0 6 6 5 5 2 0	講 義	2	2 年 春学期 必修
		地 球 生 物 学	0 6 6 5 6 1 0	講 義	2	2 年 春学期 必修
		岩 石 学	0 6 6 6 0 1 0	講 義	2	2 年 春学期 必修
		地球惑星物理学実験法及び実験Ⅰ	0 6 6 6 1 2 0	講義及び実験	3	2 年 秋学期 必修
		地 質 調 査 法	0 6 6 6 2 0 0	講 義	2	2 年 秋学期 必修
		構 造 地 質 学	0 6 6 8 7 3 0	講 義	1	2 年 春1期 必修
		地 球 環 境 学	0 6 6 8 9 0 0	講 義	2	2 年 秋学期 必修
		地球惑星科学の最前線	0 6 6 5 0 1 0	講 義	2	1 年 春学期 選択
		地 球 環 境 セ ミ ナ ー	0 6 6 5 1 0 0	演 習	1	開講 せず 選択
		テ ク ト ニ ク ス	0 6 6 5 2 1 0	講 義	1	2 年 春2期 選択
		地球惑星物理学基礎	0 6 6 6 2 1 0	講 義	2	2 年 春学期 選択
		熱 力 学 基 礎	0 6 6 6 2 2 0	講 義	2	2 年 秋学期 選択
		地 球 ダイ ナ ミ ク ス	0 6 6 6 2 3 0	講 義	2	2 年 秋学期 選択
		堆 積 地 質 学	0 6 6 6 3 0 0	講 義	2	2 年 春学期 選択
		同 位 体 地 球 化 学	0 6 6 6 4 0 0	講 義	2	2 年 秋学期 選択
		地 球 内 部 物 性 論	0 6 6 9 7 1 0	講 義	2	2 年 秋学期 選択

Ⅱ. 名古屋大学理学部における学習について

自 然 系 基 礎 科 目							
授業科目	授業形態	単位数 (1学期当り)	志望学科による必修選択の別				
			数 理 学 科	物 理 学 科	化 学 科	生 命 理 学 科	地球惑星 科 学 科
微分積分学Ⅰ	講義	2	必修	下記(注1)参照 選択必修	下記(注2)参照 選択必修	選択必修	選択必修
微分積分学Ⅱ	講義	2	必修	下記(注1)参照 選択必修	下記(注2)参照 選択必修	選択必修	選択必修
線形代数学Ⅰ	講義	2	必修	下記(注1)参照 選択必修	下記(注2)参照 選択必修	選択必修	選択必修
線形代数学Ⅱ	講義	2	必修	下記(注1)参照 選択必修	下記(注2)参照 選択必修	選択必修	選択必修
複素関数論	講義	2	必修	下記(注1)参照 選択必修	下記(注2)参照 選択必修	選択必修	選択必修
電磁気学Ⅰ	講義	2	選択	必修	選択必修	選択必修	選択必修
電磁気学Ⅱ	講義	2	選択	必修	選択必修	選択必修	選択必修
物理学基礎Ⅰ	講義	2	選択	P16(注1)参照 必修	選択必修	選択必修	選択必修
物理学基礎Ⅱ	講義	2	選択	P16(注1,2)参照 ——	選択必修	選択必修	選択必修
物理学実験	実験	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
化学基礎Ⅰ	講義	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
化学基礎Ⅱ	講義	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
化学実験	実験	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
生物学基礎Ⅰ	講義	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
生物学基礎Ⅱ	講義	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
生物学実験	実験	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
地球科学基礎Ⅰ	講義	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
地球科学基礎Ⅱ	講義	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
地球科学実験	講義	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修

(注 1) 微分積分学Ⅰ，微分積分学Ⅱ，線形代数学Ⅰ，線形代数学Ⅱ，複素関数論のうちから6単位以上修得して下さい。

(注 2) 微分積分学Ⅰ，微分積分学Ⅱ，線形代数学Ⅰ，線形代数学Ⅱ，複素関数論のうちから8単位以上修得して下さい。

理学部 自然系基礎科目コース内容

数 学

コース	授業科目	担当教員	備 考
Ⅰ	微分積分学Ⅰ	川 村	クラス１～３の学生はこの授業を選択してください。
	線形代数学Ⅰ	ルガル	
	微分積分学Ⅱ	川 村	
	線形代数学Ⅱ	ルガル	
Ⅱ	微分積分学Ⅰ	林（孝）	クラス４～６の学生はこの授業を選択してください。
	線形代数学Ⅰ	永 尾	
	微分積分学Ⅱ	林（孝）	
	線形代数学Ⅱ	永 尾	
Ⅲ	微分積分学Ⅰ	糸	クラス７～９の学生はこの授業を選択してください。
	線形代数学Ⅰ	岡 田	
	微分積分学Ⅱ	糸	
	線形代数学Ⅱ	岡 田	
Ⅳ	微分積分学Ⅰ	藤 江	クラス１０～１２の学生はこの授業を選択してください。
	線形代数学Ⅰ	谷 川	
	微分積分学Ⅱ	藤 江	
	線形代数学Ⅱ	谷 川	

Ⅱ. 名古屋大学理学部における学習について

物理学（１年次）

コース	授業科目	担当教員	備 考
Ⅰ	物 理 学 基 礎 Ⅰ	寺 崎	クラス１～３の学生はこの授業を選択してください。
	電 磁 気 学 Ⅰ	棚 橋	クラス１～４の学生はこの授業を選択してください。
Ⅱ	物 理 学 基 礎 Ⅰ	河 野	クラス４～６の学生はこの授業を選択してください。
	電 磁 気 学 Ⅰ	清 水 裕	クラス５～８の学生はこの授業を選択してください。
Ⅲ	物 理 学 基 礎 Ⅰ	川 村	クラス７～９の学生はこの授業を選択してください。
	電 磁 気 学 Ⅰ	小 林 義	クラス９～１２の学生はこの授業を選択してください。
Ⅳ	物 理 学 基 礎 Ⅰ	久 野	クラス１０～１２の学生はこの授業を選択してください。
	物 理 学 基 礎 Ⅱ	谷 山	全クラス学生用

（注１）・物理学基礎Ⅰおよび電磁気学Ⅰ・Ⅱは物理学科の必修科目です。

・物理学基礎Ⅱを履修して物理学科に分属した学生は、電磁気学Ⅰ・Ⅱを２年次に履修して下さい。

（注２）物理学基礎Ⅱは高校で物理を履修していない学生用のコースです。

物理学（２年次）

コース	授業科目	担当教員	備 考
Ⅰ	電 磁 気 学 Ⅱ	棚 橋	クラス１～６の学生はこの授業を選択してください。
Ⅱ	電 磁 気 学 Ⅱ	清 水 裕	クラス７～１２の学生はこの授業を選択してください。

化 学

コース	授業科目	担当教員	備 考
Ⅰ	化 学 基 礎 Ⅰ	伏 谷	クラス１～４の学生はこの授業を選択してください。
	化 学 基 礎 Ⅱ	多 喜	
Ⅱ	化 学 基 礎 Ⅰ	松 下	クラス５～８の学生はこの授業を選択してください。
	化 学 基 礎 Ⅱ	山 田	
Ⅲ	化 学 基 礎 Ⅰ	邨 次	クラス９～１２の学生はこの授業を選択してください。
	化 学 基 礎 Ⅱ	八 木	

Ⅱ. 名古屋大学理学部における学習について

生物学

コース	授業科目	担当教員	備 考
Ⅰ	生 物 学 基 礎 Ⅰ	岩 見	高校で深く生物を学んでいない学生はなるべくこの授業を選択してください。
	生 物 学 基 礎 Ⅱ	多 田	
Ⅱ	生 物 学 基 礎 Ⅰ	木下（俊）	高校で深く生物を学んだ学生はなるべくこの授業を選択してください。
	生 物 学 基 礎 Ⅱ	嘉 村	

地球科学

コース	授業科目	担当教員	備 考
Ⅰ	地 球 科 学 基 礎 Ⅰ	渡邊/中川	クラス 1 ～ 6 の学生はこの授業を選択してください。
	地 球 科 学 基 礎 Ⅱ	竹 内	
Ⅱ	地 球 科 学 基 礎 Ⅰ	藤田/山岡	クラス 7 ～ 1 2 の学生はこの授業を選択してください。
	地 球 科 学 基 礎 Ⅱ	額 額	